

2020.9
NEW!!

血液検査で酸化ストレスを測定!

プロトキー®

酸化ストレス検査

プロトキー®酸化ストレス検査は
血中酸化ストレスを評価するためのペプチド測定です。

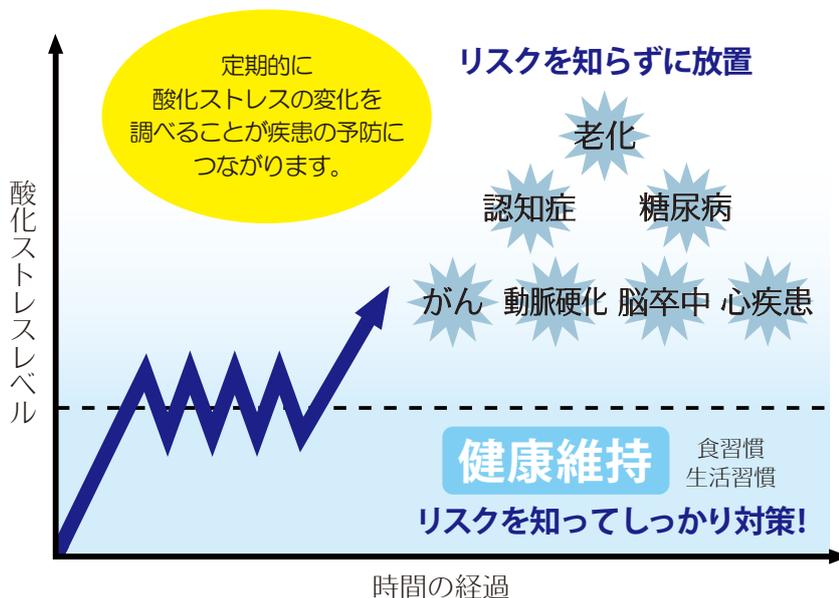
酸化ストレスはDNAからタンパク質にいたるまで身体の大事な成分を攻撃し様々な病気の原因になります。定期的に体内の酸化ストレスを測定し、酸化ストレスを減らす生活を送り健康維持に努めましょう。

こんな方に
オススメ

- 1 健康寿命を延ばして病気知らずで大往生したい!
- 2 健康のため運動しているけれど、どれだけやればいいのかわからない!
- 3 身体にいいと言われたサプリを服用しはじめたがこれって本当に効いているの?

酸化ストレスが高いと認知症のリスクも増大!

体内で酸素が利用される過程で生じる生体にとって有害な作用を「酸化ストレス」といいます。酸化ストレスが高まると、認知症やその他の病気のリスクが増大します。



生活習慣改善等

適度な運動 禁煙
娯楽 健康食品

血液検査で酸化ストレスを測定!

プロトキー[®] 酸化ストレス検査

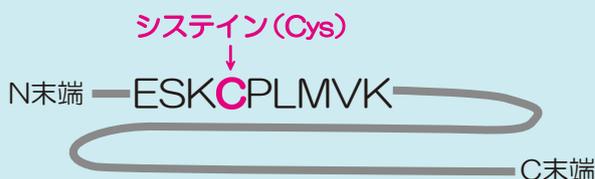


酸化ストレスが高まると、わたしたちの体内では糖尿病^{*1}や動脈硬化等^{*2}の生活習慣病から、がん、認知症にいたるまで様々な病気になるリスクが増大します。体内の酸化ストレスレベルは血中のシステイン化トランスサイレチン (CysTTR) で測定出来ます。つまりCysTTRは病気になるリスクを測る優れたバロメータといえます。

*1 Naito Y. et al., "Identification of cysteinylated transthyretin, a predictive biomarker of treatment response to partially hydrolyzed guar gum in type 2 diabetes rats, by surface-enhanced laser desorption/ionization time-of-flight mass spectrometry", J Clin Biochem Nutr. 58(1) (2016) 23-33

*2 Wakabayashi I. et al., "Cysteinylated transthyretin as a discriminator of cardiovascular risk in patients with diabetes mellitus" Clinica Chimica Acta 470 (2017) 46-50.

システイン化トランスサイレチン (CysTTR)



酸化ストレスレベル

酸化ストレスレベルは全TTRに対するCysTTR(酸化体)の割合をCysTTR比(%)として算出します

$$\text{CysTTR比(\%)} = \text{CysTTR} / \text{全TTR}$$

【検査の特長】

- 1 酸化ストレスレベルの上昇により増加するシステイン化トランスサイレチン (CysTTR) に着目し、トリプシン消化後のペプチドを質量分析装置を用いた選択反応モニタリング (Selected Reaction Monitoring: SRM) 法で測定します。
- 2 選択反応モニタリング法により検出されたトランスサイレチン (TTR) 全量に対するCysTTR (酸化体) の割合(%)を、血中の酸化ストレスレベルとして算出します。
- 3 酸化体CysTTRと還元体TTRの変化は可逆反応ですので、抗酸化サプリメント等の摂取効果を鋭敏に測定することができます。
- 4 簡便な血液検査で食事の影響はありません。
- 5 定期的を受診することにより、自身の食事・運動・睡眠・喫煙・飲酒等の生活習慣の見直しに繋がり、その結果健康寿命の延伸が期待されます。



株式会社プロトセラ

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番22号 新大阪長谷ビル 3F

[TEL] 06-6415-9620

[Email] sales@protosera.co.jp

[URL] www.protosera.co.jp